

純

[BEクラス]



July 21, 2016

**リモン　イモデイ　フリドイ　マームード**

IＤ番号:12214377

　私たちが日本に来て驚いたことのひとつに、「合コン」がある。合コンとは男女合同コンパの略語で、男女が出会いを求めて参加する飲み会のことである。バングラデシュをはじめとしたアジアや欧米各国では見られない、日本が作り上げた日本独特の飲み会である。このレポートの目的は日本人の合コンについての意識を理解するためである。はじめに調査対象やその方法について説明し、次に私たちが調査前に考えた結果の予測を述べたい。そして調査結果をまとめ、その結果を考察する。

**調査について**

　まず調査対象と調査方法についてだが、性別を問わず10代から40代の日本人60人を対象として、実際に街頭で日本人にアンケートを配り調査を行った。しかし、この方法では15人からしか回答を集めることができず、途中からインターネットを利用してアンケートを行った。その結果インターネットから46人の回答を得ることができた。街頭調査とインターネット調査を合わせて61人から回答を集めることができた。アンケートの質問内容は以下の10項目である。

＜アンケート質問内容＞

1. 合コンを知っているか

2. 参加したことがあるか

3. 参加した目的は何であったか

4. 合コンで築いた関係は継続しているか

5. 日常生活において新しい出会いがあるか

6. 合コンは必要だと思うか

7. なぜ必要があると思うか、またないと思うか

8. 合コンについて日本ではどんなイメージがあるか

9. 合コンの目的はなんであると思うか

10. なぜ日本で合コンが誕生したと思うか

**調査結果に対する予測**

　私たちは以上の質問内容を考えた上で、その結果のいくつかを推測した。まず合コンを知っているかという質問に対しては日本人であれば誰もが聞いたことのある言葉であると考え、20代から40代であれば尚更ほぼ全員が知っているだろうと予測した。次に合コンに参加したことがあるかという質問に対しては、約半数の人は参加したことがあるのではいかと予測した。その理由は合コンは簡単に人を集めることができるため、参加したことのある確率も高くなるのではないかと考えたためである。参加の目的は人によって異なり、恋人や友人を作りに行く人もいればただ食事を目的に参加する人もいると予測した。また日常生活での出会いの機会も少ないため、合コンを必要と考えている日本人も多いと考えた。最後に合コンについて日本人がどのようなイメージを抱いているのかについては、日常生活にはない新しい出会いを体験できる楽しいものと捉えているのではないかと予測した。

**調査結果**

　次にアンケート結果について述べる。私たちが予測した通り、合コンの認知度は100％であったが、実際に参加したことのある人は全体の約30％だった。日常生活において新しい出会いが少ないと回答した人数と、合コンは必要であると回答した人数はほぼ同数で、どちらも約30％だった。合コンに対するイメージについては、「不純である」などといった回答が多く合コンに対してマイナスのイメージを持っている人が多いことがわかった。これは私たちが予測していた回答と大きく異なるものであった。

**考察**

　日常生活で出会いが少ないと回答した人数と合コンが必要だと回答した人数がほぼ同数であったことから、なぜ日本で合コンが誕生したのか理解できる。忙しく生活する日本人にとって新しい出会いを探すことは簡単なことではないため、出会いの場を提供する合コンが誕生したのだ。合コンに対してマイナスのイメージを抱いている人が多いことから、やはり知らない人と一緒に食事をする合コンは日本人にとって少なからず不安要素が存在している証拠だろう。以上のことから、初対面の日本人とはあまり積極的にならずに自然に振る舞うことが重要であることがわかった。

**おわりに**

　この調査を通して合コンを行う意義や目的には様々なものがあることがわかった。また、その目的を推測したことで日本人の新たな特徴について学ぶことができた。日本の合コンという文化への知識を深め、日本人とこれまで以上に上手く付き合えることを私たちは期待する。しかし、この結果はあくまで限られたデータ結果、推測であり、これを活用すれば日本人と親密な関係を築けるわけではない。そのため、今後の調査でさらに詳しく外国人と日本人の付き合いの障害について調べたい。 (1741文字)